













全財務局 管内経済情勢報告

|      | 前回（5年4月判断）                                   | 今回（5年7月判断）                                   | 前回との<br>基調比較  | 全局総括判断の要点  |
|------|--|--|---|--|
| 全局総括 | 物価上昇や海外経済の減速等の影響がみられるものの、 <u>緩やかに持ち直している</u> | 物価上昇や海外経済の減速等の影響がみられるものの、 <u>緩やかに回復しつつある</u> |    | 個人消費は、緩やかに回復しつつある。生産活動は、物価上昇や海外経済の減速等の影響がみられるなか、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、緩やかに改善しつつある。  |
| 財務局名 | 前回（5年4月判断）                                   | 今回（5年7月判断）                                   | 前回との<br>基調比較  | 各財務局の総括判断の要点   |
| 北海道  | <u>持ち直しつつある</u>                              | <u>持ち直しつつある</u>                              |    | 個人消費は、物価上昇の影響がみられるものの、持ち直しつつある。生産活動は、弱含んでいる。雇用情勢は、持ち直しつつある。観光は、持ち直しつつある。   |
| 東北   | <u>緩やかに持ち直している</u>                           | <u>持ち直している</u>                               |    | 個人消費は、持ち直している。生産活動は、輸送機械が供給制約の緩和に伴い持ち直している一方、生産用機械が海外の設備投資需要の落ち着きから引き続き弱含んでいるなど、一進一退の状況にある。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。  |
| 関東   | 物価上昇や供給面での制約の影響がみられるものの、 <u>緩やかに持ち直している</u>  | <u>持ち直している</u>                               |    | 個人消費は、物価上昇の影響がみられるものの、百貨店販売額、スーパー販売額、コンビニエンスストア販売額などが前年を上回っているほか、宿泊や飲食サービスなどは持ち直しており、持ち直している。生産活動は、化学などが減少しているものの、輸送機械、生産用機械などが増加しており、一進一退の状況にある。雇用情勢は、改善しつつある。        |
| 北陸   | <u>緩やかに持ち直している</u>                           | <u>持ち直している</u>                               |    | 個人消費は、ドラッグストア販売が好調となっており、百貨店・スーパー販売が緩やかに持ち直していることなどから、全体では持ち直している。生産活動は、電子部品・デバイスが下げ止まっているほか、化学が持ち直しているものの、生産用機械が拡大の動きに一服感がみられることなどから、全体では足踏みの状況にある。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。 |
| 東海   | <u>緩やかに回復している</u>                            | <u>緩やかに回復している</u>                            |  | 個人消費は、緩やかに持ち直している。生産活動は、回復しつつある。雇用情勢は、緩やかに改善しつつある。   |
| 近畿   | <u>持ち直している</u>                               | <u>緩やかに回復しつつある</u>                           |  | 個人消費は、人流の回復やインバウンドの増加により、緩やかに回復しつつある。生産活動は、一進一退の状況にある。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。   |
| 中国   | <u>持ち直している</u>                               | <u>緩やかに回復しつつある</u>                           |  | 個人消費は、外出関連消費が好調なことや、インバウンドの回復により緩やかに回復しつつある。生産活動は、海外向けの需要回復に遅れがみられることなどから足踏みの状況にある。雇用情勢は、持ち直している。  |
| 四国   | <u>緩やかに持ち直している</u>                           | <u>持ち直している</u>                               |  | 個人消費は、コンビニエンスストアやドラッグストアが順調となっているほか、観光も回復しつつあるなど、全体としては持ち直している。生産活動は、電気機械が弱含んでいるものの、食料品が持ち直しつつあるほか、汎用・生産用機械が緩やかに持ち直しているなど、全体としては一進一退の状況にある。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。          |
| 九州   | <u>持ち直している</u>                               | <u>緩やかに回復しつつある</u>                           |  | 個人消費は、物価上昇の影響もみられるものの、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付け変更などを背景として、緩やかに回復しつつある。生産活動は、半導体関連の需要に落ち着きが見られるなど、回復に向けた動きに一服感がみられる。雇用情勢は、持ち直している。   |
| 福岡   | <u>持ち直している</u>                               | <u>緩やかに回復しつつある</u>                           |  | 個人消費は、回復しつつある。生産活動は、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。  |
| 沖縄   | <u>持ち直している</u>                               | <u>緩やかに回復しつつある</u>                           |  | 個人消費は、回復しつつある。観光は、緩やかに回復しつつある。雇用情勢は、緩やかに改善しつつある。   |

(注) ※ 5年7月判断は、前回4月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断。  
 ※ 下線部が基調判断。